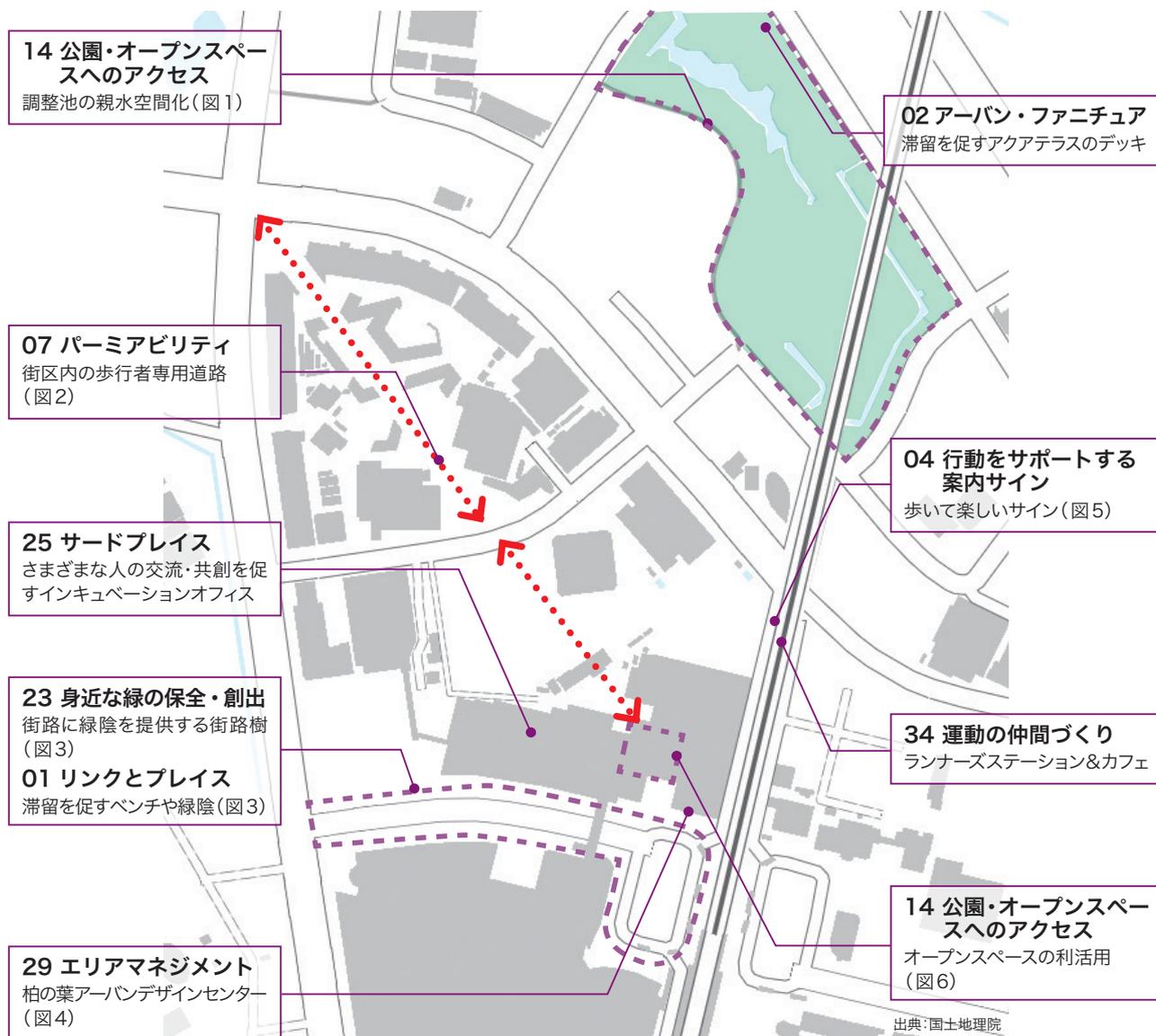


# 柏の葉キャンパス

千葉県柏市



千葉県柏市北部に位置する柏の葉キャンパス地域では、2005年のつくばエクスプレス整備にあわせて土地区画整理事業が一体的に実施されてきた。2006年に柏の葉アーバンデザインセンター（UDCK）が設立され、柏市、千葉県、三井不動産、東京大学、千葉大学などが連携し、2008年に策定された「国際キャンパスタウン構想」に基づいた公民学連携のまちづくりが推進されている。

柏の葉キャンパス地域では「世界の未来像」をつくる街」というコンセプトのもと、世界が直面する課題を解決するための先進的な取り組みが実施されている。健康面では、まちの健康

研究所「あ・し・た」による健康に関する情報提供や国際キャンパスタウン構想委員会に設置された健康まちづくり部会による健康的なまちづくりを促す取り組みが挙げられる。キャンパスタウン構想に定められた「健康で快適な暮らしを支える生活空間、歩行環境を充実させる」という方針の実行のため、この部会において策定された柏の葉ウォークブルデザインガイドラインは、歩きたくなるまちづくりの促進に寄与している。歩きたくなるまちとしてのハード面の特徴は、歩行空間の確保や舗装の高質化、敷地内通路の確保、歩いて楽しい路面サインの設置、オープンスペースの高質化が挙げられる。駅前広場と広場に連続するメインス



図1 親水空間化された調整池(アクアテラス)



図2 街区内の歩行者専用道路



図3 街路樹やベンチ



図4 UDCK (柏の葉アーバンデザインセンター)



図5 歩いて楽しいサイン

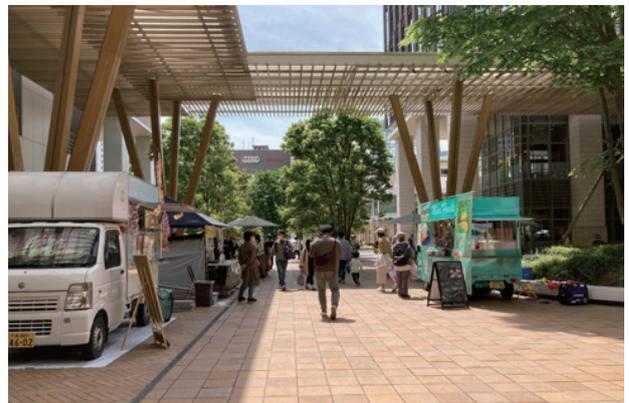


図6 オープンスペースの利活用

トリートには十分な量の樹木を配置するとともに民地側にオープンスペースを確保し、くつろぎスペース（ウッドデッキとベンチなどのアーバンファニチュア）を確保することで、歩行のしやすさや快適な歩行空間の創出に寄与している。大きな街区には敷地内通路を設け、通り抜けできるようにすることで、歩行ルートを選択性を高める工夫がなされている。高架脇の歩行者専用道路

には楽しく歩ける工夫が施された路面サインが設置され、単調でネガティブな空間になりやすい高架脇空間に変化を与えている。また、フェンスに囲まれ立ち入れなかった調整池を親水化することにより生まれた柏の葉アクアテラスは、市民の憩いの場を提供し歩きたくなるまちの推進に寄与している。

#### 参考文献

・花里真道。(2019) . Walkability を高める地域デザイン 柏の葉ウォカブルデザインガイドラインを通じた取り組み. 日本不動産学会誌, 33 (3) , 59-63.